１０　真庭の山の地形と地質

岡山県立林野高等学校　教諭　横山　義人

１　概説

中国地方東部は，東西に延びる低地と台地～高原～山地の繰り返しで特徴づけられる。まず南部の瀬戸内海に面した岡山平野があり，中央部には標高 500～700m 丘陵（吉備高原）が広がる。その北部には，東から西へ美作市-津山市-真庭市-新見市のそれぞれの市街地が発達する狭い盆地が連続する。この盆地の列は，「中国線」と呼ばれ，これに沿って高速道路の中国道や JR 姫新線が走っている。さらに北には，中国山地が岡山･鳥取県境にまたがり 1000～1300m の山並みが連続している。古代の人々は，この中国山地の稜線を主要な道路として用いていたといわれている。中国山地の北側には，東西に細長い平野（鳥取平野）やリアス式海岸(浦富海岸)で日本海に面している。また，朝鍋鷲ヶ山・毛無山地域と蒜山地域はいずれも，大山隠岐国立公園に含まれ，豊かな自然環境に恵まれている。

ここでは，大会コースとなる朝鍋鷲ヶ山・毛無山と蒜山の２つの地域を別々に分けて，それぞれ地形・地質の順で説明する。この地域の地質の情報として，日本シームレス地質図が産業技術総合研究所により Web で公開されている。この章でも登山競技の会場周辺の地質図を，日本シームレス地質図から引用している。

また，岩石の写真は，いずれも偏光顕微鏡（クロスニコル）で観察される画像である。クロスニコルとは，偏光の振動方向が直交する二枚の偏光板の間に岩石の薄片(プレパラート)を挟んだ状態のことである。なお，写真の赤線の長さが１㎜（写真の横幅約５㎜）に相当する。

写真１　毛無山からの展望

山頂から南東を望む。写真中央やや下寄りに谷底平野が形成され，狭い平地を山々が取り囲む。

２　朝鍋鷲ヶ山～毛無山

（１）朝鍋鷲ヶ山・毛無山の地形

朝鍋鷲ヶ山・毛無山山域は，岡山県真庭郡新庄村の北部に分布し，北は鳥取県日野郡江府町に接する。朝鍋鷲ヶ山の北麓には，朝鍋高原の緩やかな斜面が広がる。毛無山の南側には，1000m 以上の山々が続き，南北に走る谷に沿って谷底平野がわずかに存在する（写真 1)。そのため，蒜山側からは，朝鍋鷲ヶ山・毛無山の山容を比較的よく見ることができる（写真 2)。

写真 2　朝鍋鷲ヶ山～毛無山

上蒜山中腹の鬼女台展望台からの展望。

中央やや左寄りが朝鍋鷲ヶ山で右寄りが毛無山。

一方，南側の新庄村から毛無山方向を望んでも，山々が重なり合っており，その山容を明瞭に確認することは難しい。南側は急峻な地形のため，新庄村には，不動滝・女滝・五段滝などの滝がある（写真 3)。

写真 3　不動滝

毛無山南麓の田浪地区の南にある名滝。

また，白馬山の東には，鳥取県江府町の俣野川発電所の揚水用の池として，土用ダムが造られている（写真 4)。

写真 4　土用ダム

俣野川ダムの揚水用のダム。写真中央の右から左に，金ヶ谷山から白馬山に続く縦走路が見える。

このように，蒜山高原から南側の山地に入ると地形は一変し，高原から山また山となる。朝鍋鷲ヶ山（1078m）から南西に金ヶ谷山（1164m)，白馬山（1060m）さらに西に毛無山（1218m）と，1000m を超える稜線が連なっている（写真 5)。

写真 5

毛無山山頂から金ヶ谷山を望む。

この地域は，その自然度の高さから，平成 14 年に大山隠岐国立公園に編入された。特に毛無山の南斜面は，自然環境を厳正に保存しなければならない「特別保護地区」に指定されている。

（２）朝鍋鷲ヶ山～毛無山の地質

図１に朝鍋鷲ヶ山～毛無山周辺の地質図を示す。

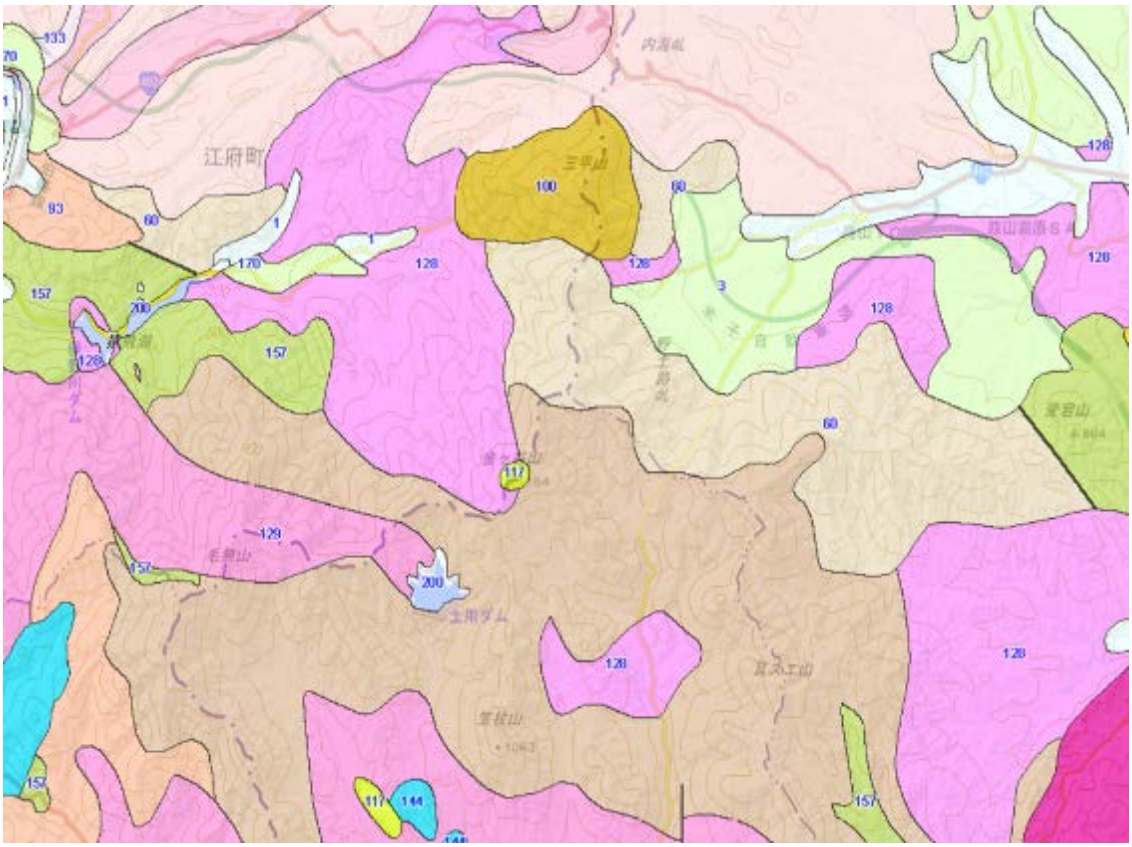


図１　朝鍋鷲ヶ山～毛無山周辺の地質図（２０万分の１日本シームレス地質図　２０１５）

凡例　1：約１万８０００年前～現在までに形成された最も新しい時代の地層

3：約７０万年前～１５万年前に形成された地層

６０：約２億年前～１億６１００万年前に海溝で複雑に変形した地層(付加体)

９３：約１億年前～６５００万年前に噴火した火山の岩石(デイサイト・流紋岩類)

１００：約７０万年前～１５万年前に噴火した火山の岩石(安山岩・玄武岩類)

１１７：約１７０万年前～７０万年前に噴火したＫやNaに富む火山の岩石(安山岩・玄武岩類)

１２８：約６５００万年前～５２００万年前にマグマが地下の深いところで冷えて固まった花崗岩質深成岩

１２９：約１億年前～６５００万年前にマグマが地下の深いところで冷えて固まった花崗岩質の深成岩

１３３：約２億年前～１億７０００万年前にマグマが地下の深いところで冷えて固まった花崗岩

１４４：約１億年前～６５００万年前にマグマが地下の深いところで冷えて固まった斑れい岩質の深成岩

１５７：約２億年前～１億７０００万年前に地下深くの強い圧力で形成された形成された変成岩類

１７０：川沿いの低地に分布している約７万年前～１万８０００年前に形成された段丘層

２００：湖水

朝鍋鷲ヶ山には，ジュラ紀の付加体の堆積物での泥岩・砂岩・チャートなどが分布する。これらは，周りの花崗岩により熱変成作用を被っている。そのため，堆積岩にしては硬くなっている。朝鍋鷲ヶ山を下ると，毛無山山頂の手前まで，細粒の花崗岩が分布する。ただ，金ヶ谷山山頂には，第四紀の玄武岩がわずかに円形に分布する（写真 6）。

写真 6　金ヶ谷山の玄武岩

この玄武岩は，周囲の花崗岩に貫入していて，斑晶と石基の区別がはっきりしないほどいずれも細粒である（斑晶は輝石で石基は斜長石からなる）。

白馬山から毛無山までの縦走路には，細粒の花崗岩が分布する。この花崗岩は等粒状組織が明瞭で，石英と長石が虫食い状の模様（ミルメカイト組織）となっていることが多い（写真 7）。

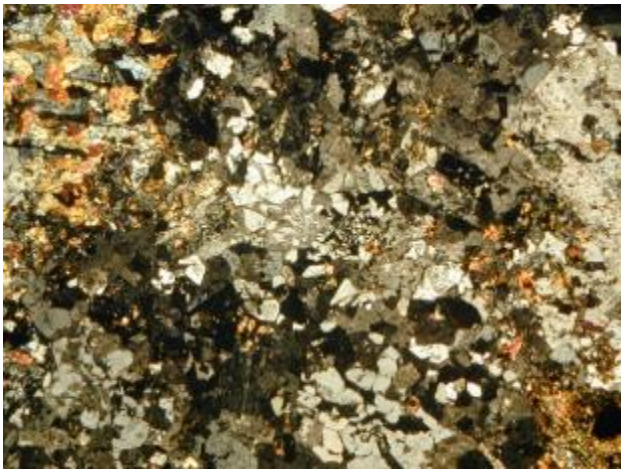


写真 7　カタクリ広場の細粒花崗岩

毛無山山頂には，地質図とは異なり安山岩が分布する（写真 8）。

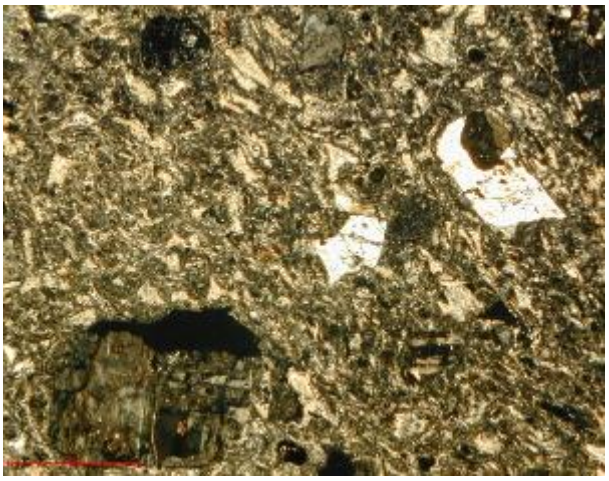


写真 8　毛無山山頂の安山岩
緑色の斑晶が輝石，白～灰色が斜長石

この安山岩は，肉眼的には毛無大岩の岩石によく似ていて赤紫～青紫色の斑状岩石で，細粒の花崗岩により接触変成作用を受けている可能性がある。毛無山から田浪への下山ルートの途中には毛無大岩と呼ばれる巨大な礫がある。この礫は安山岩（写真 9）で毛無山山頂よりは少ないが接触変成作用を受けている。

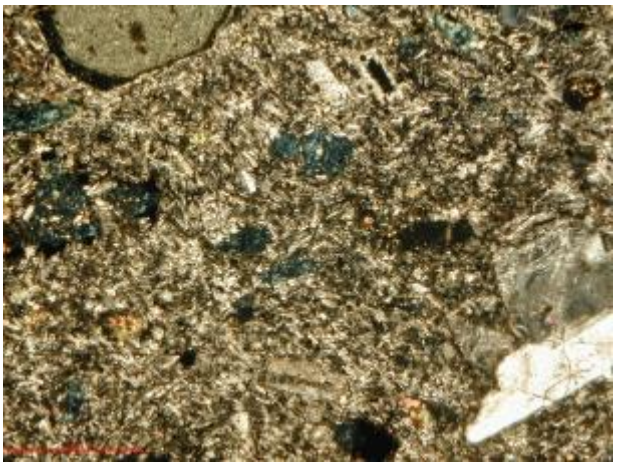


写真 9　毛無大岩の安山岩

また，この下山ルートの途中にはしばしば花崗岩の礫が分布する。しかし，登山道の整備のために外から運ばれてきた可能性がある。その理由は，この礫はきわめて粗粒の等粒状組織が大変新鮮で比較的円磨されており，登山道に限り分布していて，類似の岩石の礫は近くの谷川にほとんど見られないからである。

３　蒜山

（１）蒜山の地形

蒜山山域は，岡山県真庭市の北部に分布し，北は鳥取県倉吉市と鳥取県江府町に接する。

蒜山は岡山県唯一の火山地形で,1000m 級以上の山並みが続く。蒜山は，東から下蒜山･中蒜山・上蒜山で，いずれも明瞭なピークを持ち広い裾野が広がる。蒜山の山の南には，山間盆地の蒜山高原が広がり，大根やソバなどの畑作とジャージー牛の放牧が行われている

写真 10　蒜山ハーブガーデンから見る蒜山三座

写真 11　鬼女台から見る蒜山

（２）蒜山の地質

蒜山周辺の地質図を図２に示す。蒜山は，東から下蒜山・中蒜山・上蒜山の三座からなる火山で，前期更新世に活動した輝石や角閃石を含む安山岩（写真 12，13，14，15）の数枚の溶岩流で構成され，蒜山火山岩類と呼ばれる。また，これらの岩石の放射性年代は９１万年前～４９万年前である。

蒜山の南麓の蒜山高原には，蒜山原層とこれを被う丘陵堆積物が分布する。蒜山原層は中期更新世の湖で堆積したもので，下部層の珪藻土層と上部層の砂層～礫層に区分される。珪藻土層は，露天掘りで大規模に採掘され(写真 16)，淡緑色と暗緑色の明瞭な縞模様が見えるのが特徴である。珪藻土は，加工されたのち，ろ過助剤や壁材として広く使われている。特にろ過助剤としては，ビールの製造工程で利用されている。蒜山原層を被う中期更新世～新期更新世の地層には，大山に由来する凝灰角礫岩，主に砂礫層からなる段丘堆積物，大山や姶良に由来する火山灰層が分布する。大山上部火山灰層に被われる地層から産出した植物化石や昆虫化石から紀元前２万１０００年～２万２０００年の放射性年代が得られている。

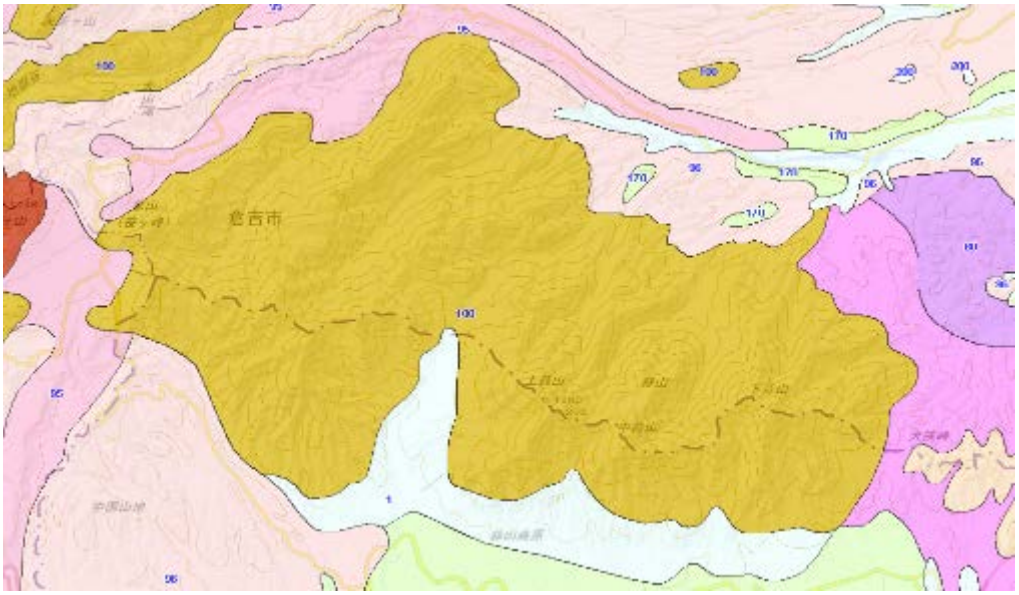


図２ 蒜山周辺の地質図（２０万分の１日本シームレス地質図 ２０１５）

凡例　1：約１万８０００年前～現在までに形成された最も新しい時代の地層

60：約２億年前～１億６１００万年前に海溝で複雑に変形した地層(付加体)

80：約 6500 万年前～5200 万年前にマグマの一部が地下浅いところで冷えて固まったもの(貫入岩)

1.　95：約１５万年前～現在に爆発的噴火により高速で流れ下った軽石や火山灰(火砕流)

2.　96：約７０万年前～１５万年前に爆発的噴火により高速で流れ下った軽石や火山灰(火砕流)

3.　100：約７０万年前～１５万年前に噴火した火山の岩石(安山岩・玄武岩類)

4.　117：約 170 万年前～70 万年前に噴火した K や Na に富む火山の岩石(安山岩・玄武岩類)

128：約 6500 万年前～5200 万年前にマグマが地下の深いところで冷えて固まった花崗岩質深成岩

170：川沿いの低地に分布している約 7 万年前～1 万 8000 年前に形成された段丘層

200:湖水

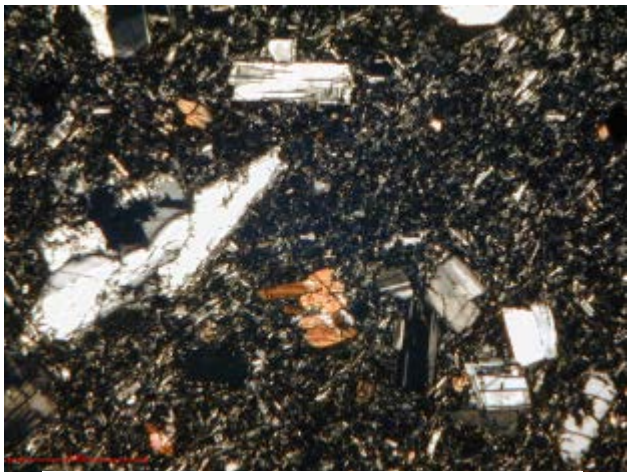


写真 12　下蒜山下りの安山岩

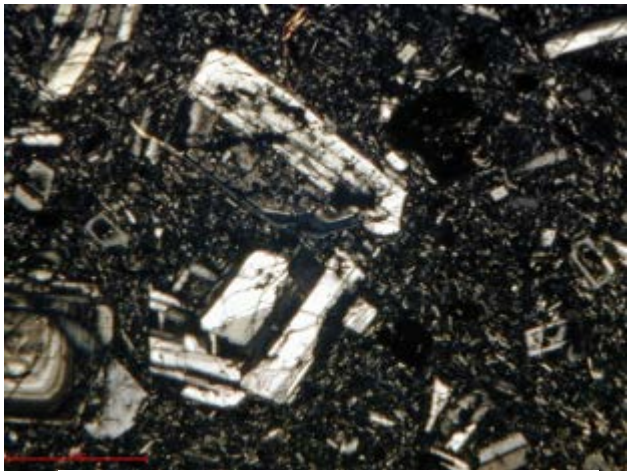


写真 13　中蒜山山頂の安山岩

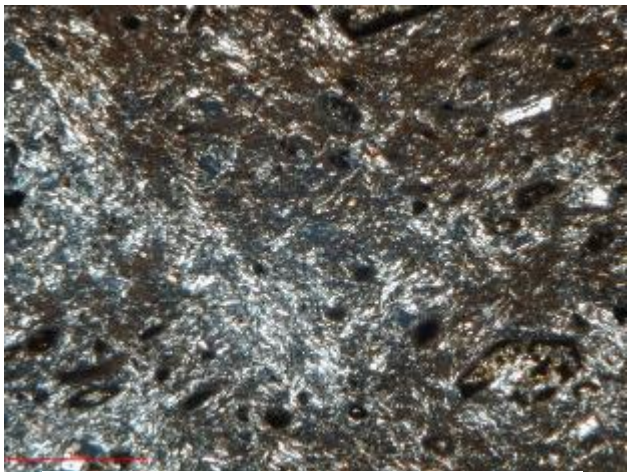


写真 14　中蒜山・鎧下の安山岩

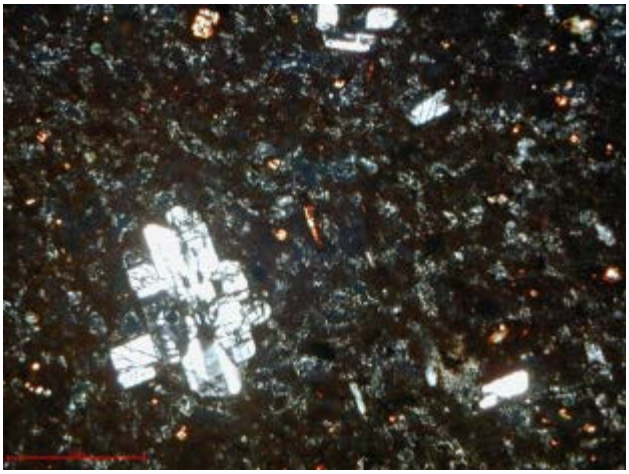


写真 15　中蒜山・上蒜山間の鞍部の安山岩

写真 16
珪藻土の露天掘り（昭和化学工業(株)提供）

● 参考文献

(1) 岡山県の地理，福武書店

(2) 日本の地質「中国地方」，共立出版

(3) 地学事典，平凡社

(4) 蒜山原団体研究グループ(1975)岡山県蒜山原の第四系，地球科学 29，153-160

(5) 産業技術総合研究所地質調査総合センター（編）（2015）20 万分の 1 日本シームレス地質図 2015 年 5 月 29 日版

１１　毛無山・蒜山の動植物

岡山の自然を学ぶ会

１　毛無山一帯の植物

岡山県の北西部，新庄村に位置するこの一帯の森林は，自然度の高さ及びその規模の大きさにおいて，岡山県でも第一級のものです。上部に広がるブナ林，渓谷にはサワグルミ林，そしてスギの巨木と，長い年月を経てつくりだされた豊かな森林です。

地形は，２つの大きな谷が入り，それを取り囲むように緩やかな斜面がつくりだされています。地質は，山頂部では火山岩類，中部から山麓にかけては，花崗岩となっています。ここのブナ林は，日本海側の特徴である，チシマザサやヒメモチが生育している一方，太平洋側に多く見られるクロモジなども生育しています。このことから，日本海側と太平洋側の両方の特徴を持っていると考えられています。

４月下旬～５月上旬，毛無山から白馬山への縦走路沿いには，カタクリの花が咲きます。保護柵で囲まれたところもあり，ここのカタクリは，大きな群生となっています。

カタクリ

特徴的な植物は，草本では，カタクリ，エンレイソウ，ツクバネソウ，キクザキイチゲ，トキワイカリソウ，イワカガミ，ヤマシャクヤク，サンヨウブシなどです。木本では，ブナ，サワグルミ，エゾユズリハ，ヒメモチ，イヌシデ，タンナサワフタギ，ムラサキマユミなどです。

この地域特有のダイセンキスミレは，オオバキスミレの一変種で，高さ 10cm 程度と小さく，地下茎が太く短いことで区別できます。５月上旬，朝鍋鷲ケ山の山頂付近で咲いています。同じ時期，福井県から島根県までの日本海側に自生するサンインシロカネソウが咲きます。

ダイセンキスミレ

サンインシロカネソウ

近年個体数が減少しているヤマシャクヤクは，山麓の木陰でひっそりと咲いています。タニウツギは，５～６月，ピンク色の花を咲かせます。これは日本海側特有の植物で，毛無山や蒜山にも多く生育しています。

ヤマシャクヤク

タニウツギ

上部に広がるブナは，早春に花を咲かせ，初夏には実を付けます。あちこちに見られるヤブデマリは，初夏，白い花を咲かせます。

ブナ

ヤブデマリ

ヤマボウシは，初夏に花を咲かせますが，大きな４枚の白い部分は，花弁ではなく総苞片です。春咲くタムシバは，コブシに似た大きな白い花です。

ヤマボウシ

タムシバ

２　蒜山の植物

上，中，下蒜山の３つの山を蒜山三座と言い，蒜山三座は火山活動でできた山です。約 200 万年前に火山活動を開始し，この時，せき止められた湖が，現在の蒜山高原盆地となりました。大きな湖だった証として，珪藻土が産出されています。

蒜山三座の中で眺望がよいのは下蒜山で，５合目付近から上は，ササ原になっています。

蒜山は，上蒜山の一部にブナ林が残っているほかは，大部分が人の手の入った二次林ですが，稜線の縦走路に沿って，イワカガミやシコクフウロなどの高山植物が生育しています。また，山麓の蒜山高原では，ススキ，マツムシソウ，リンドウ，ワレモコウなどの秋の草花が草原を彩ります。

４月下旬頃から，春の花が咲きそろいます。葉の展開より先に花をつけるサンインスミレサイシン，白くかわいいサンカヨウ，特に下蒜山の中腹の雲居平では，カタクリやキクザキイチゲ，樹木では，ウリハダカエデの花などが多く見られます。

サンインスミレサイシン

サンカヨウ

キクザキイチゲ

ウリハダカエデ

初夏に近づくと，登山道沿いにササユリが咲きます。また，カワラナデシコも見られるようになります。

ササユリ

カワラナデシコ

蒜山高原では，夏から秋にかけて，ツリフネソウ，イブキトラノオ，マツムシソウ，キキョウなど，いろいろな草花が咲きます。

ツリフネソウ

イブキトラノオ

マツムシソウ

キキョウ

水辺の植物で特徴的なものは，ヒルゼンバイカモとミツガシワです。ヒルゼンバイカモは，蒜山地域を中心とした比較的狭い地域に分布する水草です。この地方では，「うだぜり」と呼ばれ，食用にされています。ミツガシワは，氷河時代の生き残りといわれ，冷涼な気候を好む植物です。

ヒルゼンバイカモ

ミツガシワ

秋には，草木の実や種子が目立ってきます。昔は，オニグルミやトチノキなどの実を食用にしていました。ブナやツノハシバミの実も食べることができます。

オニグルミ

トチノキ

ブナ

ツノハシバミ

３　毛無山系の野鳥

新庄村の毛無山から朝鍋鷲ヶ山にかけての山域に広がるブナ林は，深い谷に渓流が流れ，自然環境の豊かな森に生息する野鳥が見られます。

初夏，沢沿いの森に多いのは夏鳥のオオルリで，雄は美しいブルーの羽毛をまとい，梢や枝の中ほどでよくさえずります。一方，岩の上や地上に近い低い枝にいるのはミソサザイで，小さくて地味な色合いですが，声量のある声で鳴き続けます。また，時にはサワガニ等を主食とするカワセミの仲間アカショウビンの震えるような声を聞くことがあります。登山道や尾根道ではウグイスやクロジ，ホトトギス，ツツドリ等のさえずりが続き，また，木の幹を上下に走るゴジュウカラの姿や木をたたくアオゲラの姿を見ることがあります。

ところで，最近は元来飼い鳥であった外来種のソウシチョウが野生化，増加していて，在来の動植物等生態系への影響が懸念されます。

コガラ

アカゲラ

４　蒜山地域の野鳥

真庭市蒜山高原の標高はおよそ 400～500m，蒜山三座の上蒜山の標高は約 1200m と気候は冷涼で，森林から草原，農地と多様な自然環境に恵まれています。

野鳥の種類も豊富で，初夏の高原を代表する鳥カッコウの姿と声，年間を通して見られるコガラ，ヒガラ，アカゲラ，カケス等の姿が見られます。

集落や農地周辺の林では，ホオジロやシジュウカラ，エナガといった身近な種類から，良く茂った林に入ると，キビタキやクロツグミ，サンショウクイ等の夏鳥のさえずりが満ちあふれています。また，森の奥からアオバトの物寂しげな声を耳にし，夜間はトラツグミ，コノハズク，ヨタカ等の声を聴くことがあります。

さらに，山の稜線に出ると，イワツバメやアマツバメ等が飛び交い，時にはクマタカやハチクマ等猛禽類が雄姿を現します。

秋，山が紅葉に色づく頃には，ツグミやジョウビタキ等の冬鳥が飛来し，マユミやナナカマド等の木の実に群がります。冬から早春は積雪に覆われますが，カラマツの種子やヌルデ等の実，桜の新芽等を目当てにアトリ，マヒワ，ウソ等が見られます。

キビタキ

サンショウクイ

※野鳥の写真提供
　香西宏明様（日本野鳥の会岡山県支部）

５　昆虫

４月中旬，春の妖精と呼ばれるギフチョウがひらひらと舞います。個体数は多くないのですが，下蒜山５合目までの雑木林で出合えるかもしれません。５～６月頃，氷河時代の生き残りといわれるウスバシロチョウにも出合えるかもしれません。

また，ゴマダラチョウや数種のヒョウモンチョウの仲間も見られます。ヒョウモンチョウの仲間は，夏，草原に群れています。

ギフチョウ

ウスバシロチョウ

ゴマダラチョウ

ヒョウモンチョウの仲間

初夏の湿原では，ハッチョウトンボが見られます。体長２cmほど，日本で最も小さなトンボです。

ハッチョウトンボ

アキアカネ

６　蒜山地域のオオサンショウウオ

（１）特別天然記念物オオサンショウウオ

オオサンショウウオは，世界最大の両生類で生きた化石といわれます。日本固有の両生類で，山間部の里山の小川で生息し，夜間に活発に行動し，一生を水の中でくらします。餌は幼生のころは水生昆虫，成体になると，魚類やサワガニ，カエルなどを主食としています。生息地は，本州では岐阜県より西，九州では大分県に分布しています。特に中国山地の里山を流れる川での確認が多く，岡山県真庭市の蒜山地域と湯原，中和は，昭和２年に河川だけでなく全地域がオオサンショウウオ生息地として特別天然記念物に指定されています。また，オオサンショウウオそのものも，昭和 27 年に特別天然記念物に指定されて，文化財保護法で守られています。

（２）生態

オオサンショウウオの成体 98cm,4.5kg

標準和名は，オオサンショウウオ　(大山椒魚)ですが，蒜山地域では，ハンザキと呼んでいます。学名は，Andrias japonicas で脊椎動物門の両生綱，サンショウウオ目（有尾類），オオサンショウウオ科に属します。

世界最大の両生類で，体長が１m を超えることもあります。頭は扁平，ずん胴で肢（あし）は短く，目は非常に小さく，口は大きく，細い歯がのこぎり状にあります。体表には突起があり，ヌメヌメしていて，茶褐色地に黒い斑紋，体の側面には皮膚のヒダがあります。

オオサンショウウオのオスは，初夏になると上流へ遡上し産卵用の巣穴をつくります。

巣穴を守るオオサンショウウオのオス

オオサンショウウオのメスは，８月の終わりから９月中ごろになると，オスに誘引されて産卵用の巣穴に入り産卵を行います。

オオサンショウウオの卵嚢は，直径 5～8mm の球形で，透明なゼリー状の物質で覆われており，１個１個が数珠のようにつながっています。

オオサンショウウオの卵

１頭のメスは，一回の産卵で 200～500 個程産みます。

卵は４０～５０日で孵化します。孵化した幼生は，頭部から背中，尾にかけて黒色で，足はなく，エラで呼吸をするオタマジャクシです。

しばらくすると，足が生えてきて，親と似た姿になりますが，まだエラで呼吸をします。２年目には，茶色地に黒い斑紋がでてきて，オオサンショウウオらしくなります。４年から５年で全長 20cm に成長し，エラが完全に無くなって，「変態」が完了します。

オオサンショウウオの幼生　2.8cm

１２　連絡事項

１　受付について

8 月 5 日（金）10:00～15:00「湯原ふれあいセンター」で行います。5 日 15:30～は監督・リーダー会議がありますので早めに済ませてください。なお，この日の計画輸送はありません。

２　計画輸送について

6 日（土）：湯原ふれあいセンター駐車場から勝山文化センター（開会式会場）へ。
諸審査に必要な筆記具，下敷や水筒などは，サブザックに入れて行動してください。
昼食終了後，勝山スポーツセンター駐車場から蒜山高原スポーツ公園（幕営地）まで。

7 日（日）：往路は幕営地から林道川上２号線入口へ。
復路は毛無山山の家から幕営地へ。

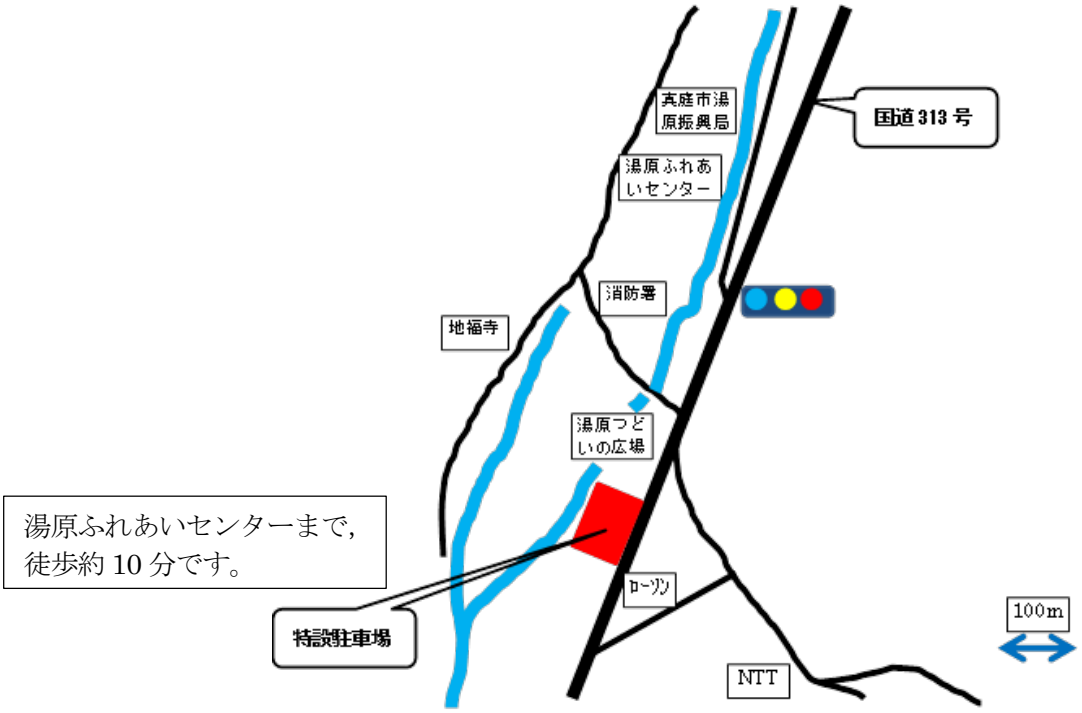
8 日（月）：往路は幕営地から道の駅蒜山高原へ。
復路は蒜山高原キャンプ場から幕営地へ。

9 日（火）：登山行動終了後，中蒜山登山口から各宿舎へ。

10 日（水）：湯原ふれあいセンター駐車場から勝山文化センターへ。
勝山文化センターでの閉会式終了後に現地解散となりますので，「特設駐車場」に停めている車は，勝山文化センター駐車場へ移動させてください。

大会に車でお越しの場合は，5 日（金）監督・リーダー会議が始まるまでに，指定の「特設駐車場」に置いてください。10 日（水）朝まで「特設駐車場」にお停めいただくことになります。

駐車の際は，申込シートにある「監督駐車票」を掲示してください。なお，駐車場は大会期間中無人になります。いかなる事故・事件に対しても一切対応しかねます。



３　荷物について

6 日（土）：開会式会場へはメインザックは持ち込めません。バスに載せたままとしますので，諸審査に必要な筆記具，下敷や水筒などは，サブザックに入れて行動してください。また，食材の管理についても腐りやすいものはサブザックに入れて行動するなど万全の対策を施してください。なお，自然観察・気象・救急テストの会場となる勝山高校は土足厳禁ですので下足を袋に入れて各自で保管してください。下足袋は用意します。

10 日（水）：閉会式会場へはメインザック等を持ち込んでも構いません。指定された場所へ置いてください。

４　宿舎・入浴について

（１）大会前後の宿舎は，原則として同じ宿に宿泊していただけるように計画しています。

（２）選手は大会期間中，宿舎に戻る９日（火）までは入浴できません。７日（日）と８日（月）のいずれかの日には幕営地に隣接する屋外プールを利用することができます。利用したい選手は水着等の準備をしてきてください。利用可能時間は当日に連絡します。シャンプー，石鹸はプールに入る前のシャワーで使用してください。プールの中には石鹸などを持ち込んではいけません。なお，天候や登山行動，審査の状況によっては時間がとれない場合があります。

５　大会中の食事について

区　分	8/5（金）			8/6（土）			8/7（日）			8/8（月）			8/9（火）			8/10（水）		
	朝	昼	夜	朝	昼	夜	朝	昼	夜	朝	昼	夜	朝	昼	夜	朝	昼	夜
Ａ　隊			○	○	△	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	△	
Ｂ　隊			○	○	△	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	△	
昼食弁当引渡場所				勝山文化センター												勝山文化センター		
○…各宿舎　△…指定場所（弁当・事前に予約）　×…各自で準備																		

６　荒天対策について

荒天で幕営不能と大会本部が判断した場合は，Ａ隊選手・監督は「蒜山高原スポーツ公園体育館」，Ｂ隊選手・監督は「勝山高校蒜山校地体育館」に避難の予定です。炊事や就寝時のエリア等，当日の指示に従ってください。

７　事前下見について

ハチやマムシ，クマが生息・出現する可能性もありますので，万全の対策を施してください。

（１）　毛無山コース

朝鍋鷲ヶ山への林道は多くが私有地になります。徒歩での通行は可能ですが，無断でゲートを開けたり，鎖を外したりしないでください。朝鍋鷲ヶ山登山口スタート広場には車を停めることができます。

（２）　上蒜山コース

百合原牧場から蒜山高原キャンプ場へのルートに「無断入山防止」の鎖がかかっている場合がありますが，徒歩での通行は可能です。鎖は外さず，山菜や野草の採取等を疑われる行為をしないように通過してください。

（３）　蒜山高原スポーツ公園での幕営

大会期間以外には使用できません。近隣のキャンプ場をご利用ください。

大会コース近隣の主なキャンプ場は，以下の通りです。

・田浪キャンプ場　　岡山県真庭郡新庄村田浪　　0867-56-2626
・塩釜キャンプ場　　岡山県真庭市蒜山下福田 27-50　　0867-66-3959
・蒜山高原キャンプ場　　岡山県真庭市蒜山上福田　　0867-66-2501

この他にもたくさんのアウトドア施設があります。ご利用ください。

８　専門委員長および視察員の宿泊について

・宿泊申込書を配宿センターホームページよりダウンロードし，都道府県登山専門部を通じて配宿センターあてに申し込んでください。

【問い合わせ先】

・緊急時を除いて，ご質問などはメールでお願いいたします。

平成２８年度全国高等学校総合体育大会　真庭市・新庄村実行委員会　登山競技担当
〒717-0504　　岡山県真庭市蒜山下福田 305　真庭市蒜山振興局　内
TEL 0867-66-2511　FAX 0867-66-4401
E-mail:inter@city.maniwa.lg.jp　HP：http://www.koukousoutai.com/2016soutai/